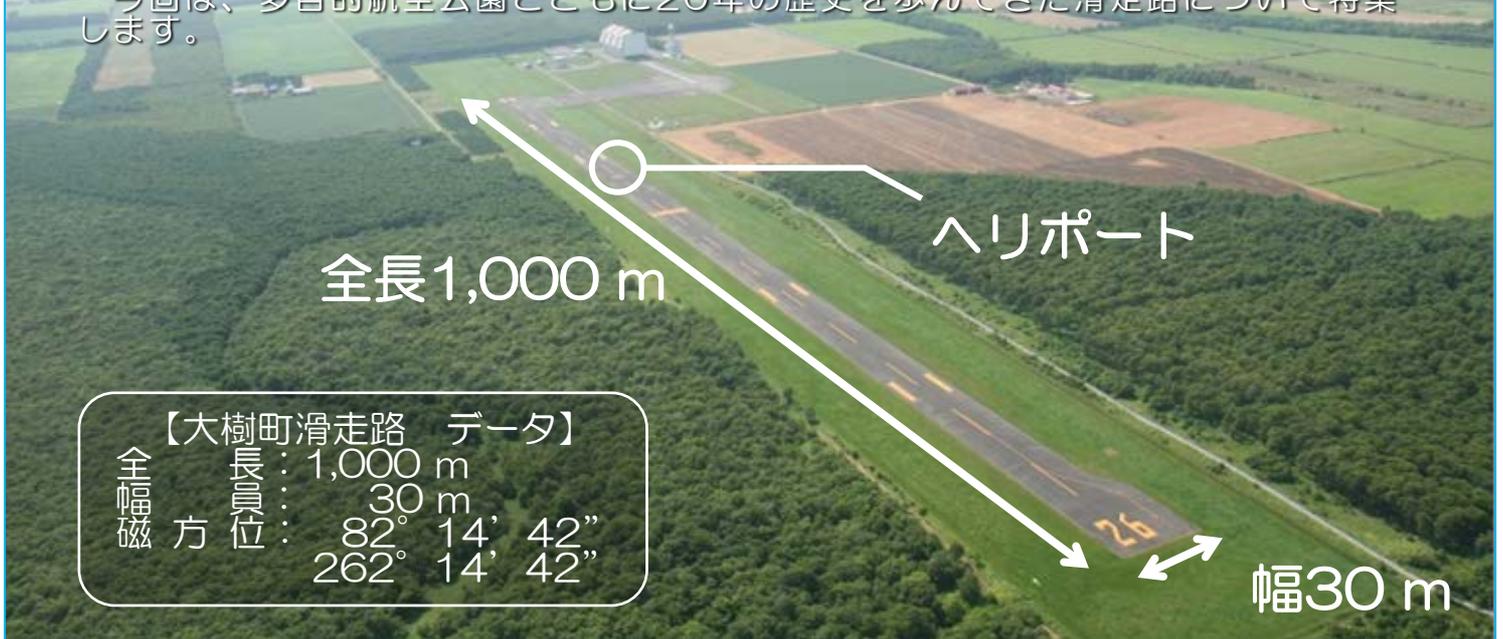


特集：多目的航空公園滑走路

「宇宙のまち」大樹町の象徴ともいえる多目的航空公園。平成7年に滑走路が整備されて多目的航空公園がオープンしてから今年で20周年を迎えます。
今回は、多目的航空公園とともに20年の歴史を歩んできた滑走路について特集します。



転圧滑走路誕生

平成7年（1995年）、土を押し固めた転圧滑走路として大樹町滑走路は誕生しました。

多目的航空公園一帯は、海岸線に沿って30 kmも平坦な地形が続くこと、東から南方向にすぐ海があるため海と一体となった実験が可能であること、晴天が多い、風が弱い、雷が少ないなど気象的に優れていることなど、航空宇宙関連実験に有利な条件が揃っていることから、大樹町に滑走路が誕生しました。

しかし、転圧滑走路では路面が土であるため、安全性、実験効率が低く、また、悪天候により実験予定日のうち約6割の日が実験使用不可能になるなど問題点もありました。



転圧滑走路に着陸する実験用航空機（JAXA）

滑走路全面舗装化

上記の問題点を解消するため平成10年（1998年）に転圧滑走路の舗装化が行われ、滑走路は現在の姿となりました。

現在では公的機関、民間企業、大学などが様々な実験を行っています。



マイクロライト日本選手権大会の様子（H24）
滑走路は実験以外にも様々な団体が利用します

滑走路で行われた実験は裏面に！

滑走路で行われた実験（一部）

1998



HOPE着陸航法実験
(IBNAL、IBNASDA、
現JAXA)

HOPEとはH-IIロケットにより打上げられ地上に水平着陸する無人宇宙往還機です。

2000



USERS高空落下試験
(USEF、日産自動車)

USERSは、微小重力実験後、回収部が自律的に帰還するシステムです。

2003



多目的実証実験機を用いた実験 (JAXA)

多目的実証実験 (MuP AL-α) は、高精度なデータ収集装置や特殊な操縦装置を用いて、様々な実験を行える実験用航空機です。

2005



騒音測定試験
(名城大学理工学部)

スピーカーから発せられる騒音を、様々な位置のマイクで測定し、環境の変化による減衰の違いなどのデータを取得しました。

2006



自律型飛行船実験
(神戸大学工学部)

全長12mの無人飛行船は災害時の救急活動用の自動制御機器や情報収集機器を搭載しています。GPSにより自律飛行するシステムの開発を行いました。

2011



小型無人機飛行試験
(JAXA)

災害時監視用の小型無人機の飛行試験は2004年から継続して行われています。

2013



飛行ロボットの自律飛行実験
(電気通信大学)

電気通信大学は、災害時を想定した飛行ロボットの自立制御システムの研究を2011年から毎年大樹町で行っています。



それはさておき
関係休題の
スライサー

タイキ君 航空公園の滑走路を使ってこれまでに多くの飛行機が離着陸していますが、源流をたどるとライト兄弟ということになるのでしょうか？

久齋先生 そうじゃな。アメリカのライト兄弟は1903年に世界初の有人動力飛行に成功したことで知られておるのお。それから100年余り、飛行機の技術や産業の発展は文字通り飛躍的じゃ。

タ 人類で初めて空を飛んだのがライト兄弟なんですか？

- 久 有人飛行の歴史は気球から始まっておるんじゃ。1783年に熱気球による有人飛行に成功したフランスのモンゴルフィエ兄弟が世界初と言われておるぞ。彼らは薄い麻布に紙を貼った熱気球を作り湿ったワラと羊毛を燃やしておこした煙をつめて飛ばしたんじゃ。同じ1783年には同じフランスのシャルルが水素という空気より軽い気体に着目し、水素ガス気球による有人飛行に成功しておるぞ。
- タ 長い歴史を持ち今なお発展し続けている気球や飛行機の実験が大樹町で行われているなんて、なんだかとても誇らしいですね♪

発行：大樹町企画課企画係
〒089-2195
北海道広尾郡大樹町東本通33番地
電話：01558-6-2113
HP：<http://www.town.taiki.hokkaido.jp>